

まちなか図書館（仮称）実施計画（素案）に
ついて

目 次

1. まちなか図書館（仮称）とは	
1 基本理念、基本方針	1
2 導入位置	2
2. 図書館の全体構成及び各ゾーンの内容	
1 施設コンセプト	3
2 空間レイアウト	4
3 各ゾーンの空間イメージ及び特徴的サービスイメージ	
(1) ウェルカムゾーン	6
(2) アクティブゾーン	8
(3) グローアップゾーン	10
(4) リラクゼーションゾーン	12
(5) ラーニング・クリエイティブゾーン	14
4 各ゾーンの基本仕上げイメージ	16
5 施設面積	17
3. 蔵書及びICTを活用した利用者サービスの考え方	
1 蔵書	18
2 ICTを活用した利用者サービス	18
4. 管理運営の考え方	
1 組織構成	20
2 職員の役割等	
(1) 館長	21
(2) スタッフ	21
3 管理運営形態	22
4 開館時間、休館日	23
5 駐車場、駐輪場	23
5. 概算事業費	24
6. 整備スケジュール	25

1. まちなか図書館（仮称）とは

1 基本理念、基本方針

公立図書館は、「地域や住民に役立つ」図書館として新たな存在意義が求められる中、社会情勢の変化や地域の実情に応じ、全国的に多くの新しい挑戦がみられます。

本市においては、魅力あふれる地域づくり、地方創生の観点から、市民がいきいきと輝いて暮らせ、持続可能なまちづくりを進めるため、「住んでみたくなるまち」、「住み続けたいくなるまち」豊橋の象徴となり、未来の豊橋を創造する拠点が必要となっています。

このような拠点となるべく、まちなか図書館（仮称）（以下「まちなか図書館」という。）は、図書館が持つ可能性を最大限に発揮し、中心市街地の諸機能と連携した魅力ある施設としてにぎわいの創出を図るとともに、次代を見据え、豊橋のまちづくりを担う人材の育成を図る場を目指し、基本理念、基本方針を以下のとおり定めています。

基本理念

世界を広げ、
まちづくりに繋げる
“知と交流の創造拠点”

基本方針

- 1 新たな世界を発見し、創造する
- 2 交流、活動を通して、人と人との繋がる始点となる
- 3 気軽に立ち寄れ、心落ち着く居場所となる
- 4 再開発エリアや中心市街地の諸機能等と連携する
- 5 次代のまちづくりと中心市街地のにぎわい創出に繋げる

「豊橋市まちなか図書館（仮称）整備基本計画^{※1}（以下「基本計画」という。）第3章」より抜粋

にぎわいの創出とは、単に人が集うことではなく、地域住民が主体となった活動が活発になること、そこから新たな文化が創造されることだと考えます。活動には、個人のライフスタイルを豊かにするものから地域の課題に向きあうものまで様々な形態が想定されます。まちなか図書館は、市民のサードプレイス^{※2}として、人と人とのコミュニケーションを図り、まちづくりなど市民主体の活動に繋がる環境やサービスを創出することが重要です。

まちづくりとは、すなわち人づくりです。そのためには、新たな「情報」や「人」との出会いにより、まちの課題を考える人材の育成が鍵となります。

^{※1} 豊橋市がまちなか図書館（仮称）の基本理念・基本方針、サービス、施設整備、管理運営などの基本的な考え方を整理したものであり、平成26年度に策定。

^{※2} 家庭でも職場でもない、親しみやすく居心地のよい第3の場所。対話によって創造的なアイデアを生み出すことができ、多様な人たちと出会う。

まちなか図書館は、図書館の基本的機能を押さえつつまちなかにこそ求められる機能を担い、新たな情報や人との出会いを創出し、まちづくりに寄与する人材を育成する場として整備していきます。

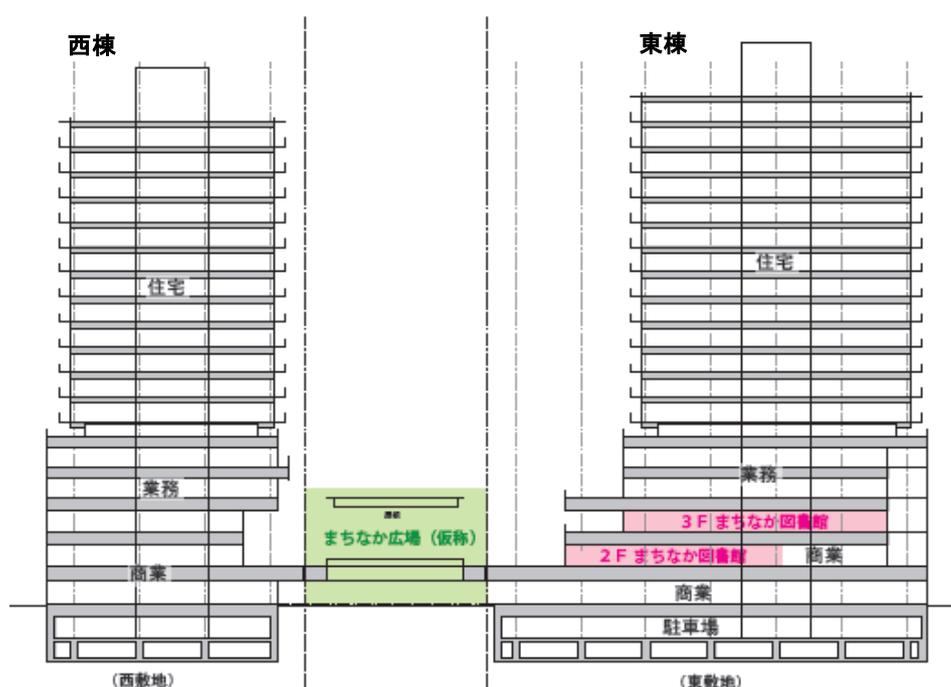
2 導入位置

まちなか図書館は、豊橋駅前大通二丁目地区第1種市街地再開発事業により整備される再開発ビル東棟（東敷地内）の2階の一部及び3階に導入します。

平面イメージ



立面イメージ



※ まちなか広場 (仮称) は、以下「まちなか広場」という。

※ 立面イメージは、再開発ビル基本設計図を基に作成

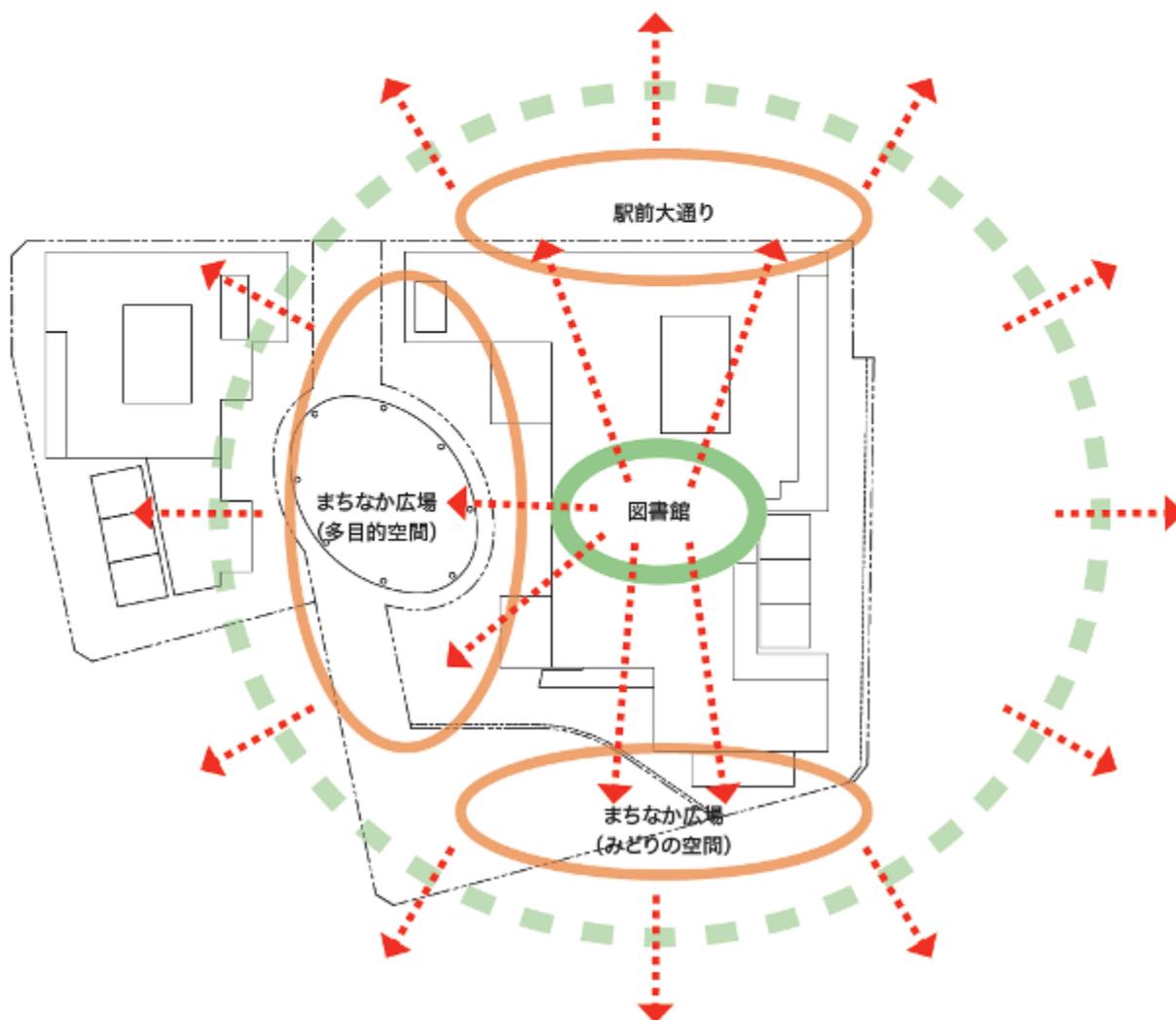
2. 図書館の全体構成及び各ゾーンの内容

1 施設コンセプト

施設コンセプトは、周辺部や街との繋がりを意識し、以下のとおりとします。

Library to the City 街に広がる図書館

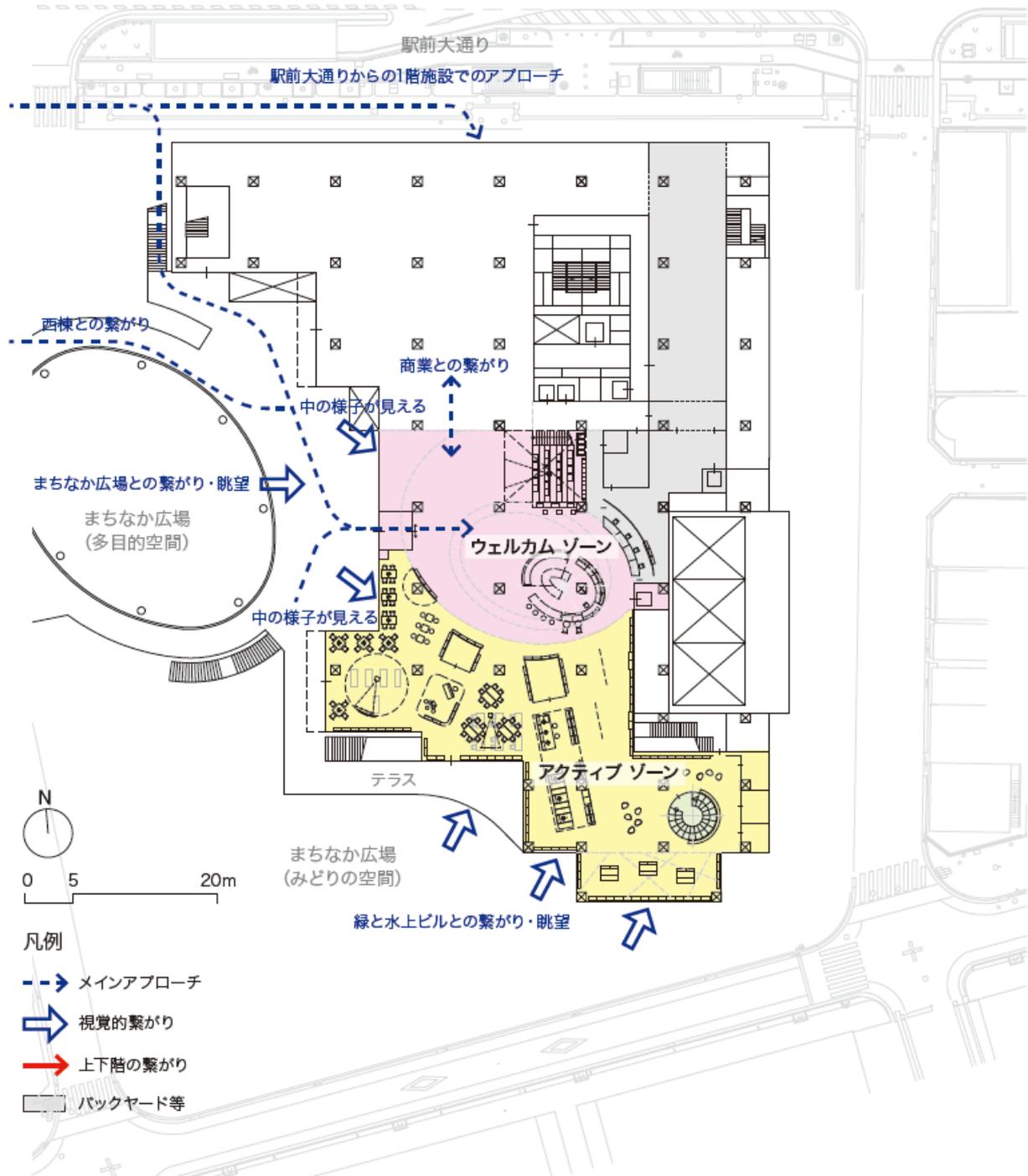
図書館を中心に北側の駅前大通り、西側のまちなか広場「多目的空間」及び南側「みどりの空間」と図書館との繋がりを意識し、街に放射状に広がる図書館



2 空間レイアウト

空間レイアウトについては、基本計画で定めた5つのゾーンを以下のとおり配置し、各ゾーンのコンセプトに合わせ「音」にも配慮した空間とします。また、ユニバーサルデザインの導入や環境負荷抑制への取組についても、再開発ビルの基本設計等と調整を図ります。

2階平面図イメージ



※1 ゾーニングレイアウトは再開発ビル基本設計図を基に作成したものであり、今後、再開発ビルの詳細設計と調整しながら実施設計等を行う中で決めていきます。

※2 机・椅子等の家具は、部屋の広さをイメージするために配置したものであり、書架の配置を含め、今後実施設計等を行う中で詳細な内容を詰めていきます。

3階平面図イメージ

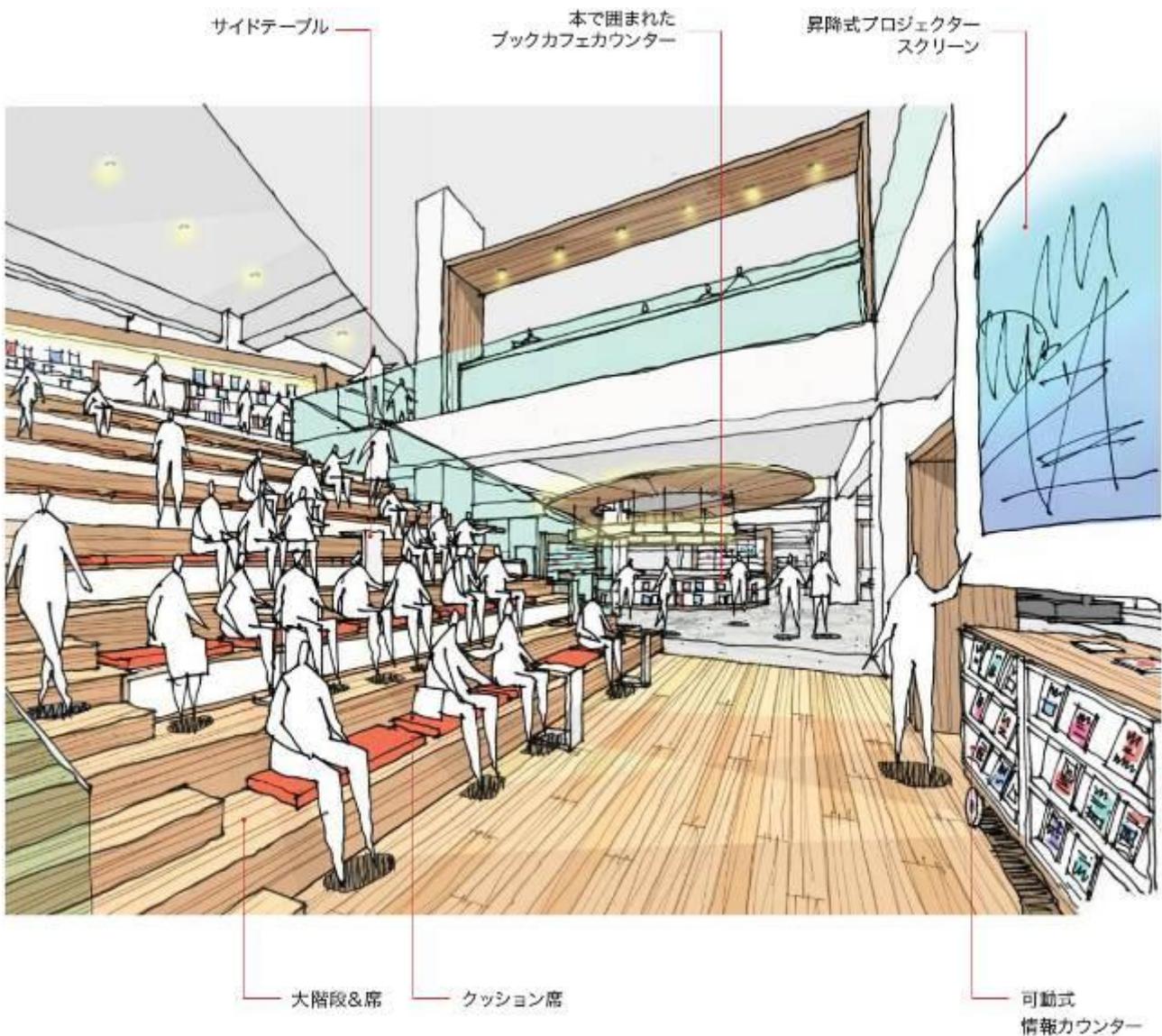


3 各ゾーンの空間イメージ及び特徴的サービスイメージ

各ゾーンの空間イメージと基本方針に基づく特徴的サービスイメージは、以下のとおりです。

(1) ウェルカムゾーン

図書館を訪れた人が気軽に手に取れるような雑誌や人気のある本、新着本、お勧めの本等を中心に配架し、可動式書架の配置を柔軟に変え、本の表紙を見せる等ディスプレイにも工夫をすることで、立ち寄りやすくワクワクする空間とします。



主な家具のイメージ



空間コンセプト

図書館外のにぎやかな空間と中を緩やかに繋ぐ場

(駅前大通り、まちなか広場、商業スペースと図書館の間を出入りしやすい雰囲気、
気付かないうちに図書館に入ってしまう)

主な配置スペースの例 (以下、スペース名等はすべて仮称)

- ・インフォメーションスペース
- ・パフォーマンススペース (誰もが参加できる場)
- ・待ち合わせ、チャットスペース
- ・ブックカフェ

主なサービス、活動イメージ



サービス・
活動事例

コンシェルジュによる案内

パブリックビューイング

サービス・
活動内容

まちなかの最新情報 (店、人、景観等)
の提供

穂の国とよはし芸術劇場 (以下「プラット」
という。)やこども未来館等で行われている
イベントの鑑賞等

例) プラット: 市民劇、トークショー
こども未来館: イベント映像特集等

主な対象

立ち寄った人、豊橋を訪れた人

立ち寄った人、
演劇、音楽に興味のある人

とき

常時

イベント開催時、開催後

場所

インフォメーションスペース

パフォーマンススペース

その他の特徴的サービスプログラムの例

サービス	とき	主な対象
愛知県図書館や東三河の図書館ネットワークを 活用した地域の情報キーステーション 例) デジタルサイネージ (電子掲示板) 等による 画像、動画の配信等	常時	東三河に来た人、 住みたい人、 働きたい人
地元企業のキーマンや、様々な活動を行っている 市民のトークショー	平日夜/休日	まちに興味のある人、 就職を考えている学生
市民団体による過去の名作映画の試写やスピン オフトーク等	休日	映画好きな人

(2) アクティブゾーン

日常生活を豊かにする本（食、健康、音楽、映像等）を中心に配架し、イベント開催時には、その内容に合った本を並べます。また、可動式書架の配置替え等により、参加者だけでなく立ち寄った人にも興味が深まるような空間とします。



主な家具のイメージ



空間コンセプト

- にぎやかで活気がある場
- 新たな出会い、興味が深まる場
- 開放感があり、活動をしたくなる場

主な配置スペースの例

- ・パフォーマンススペース（市民主体で活動を行う場）
- ・キッズスペース

主なサービス、活動イメージ

		
<p>サービス・活動事例</p>	<p>大人の部活動</p>	<p>出張まちゼミ</p>
<p>サービス・活動内容</p>	<p>共通の趣味、目的のため市民が主催する交流イベントや活動 例) SNS等で市民が呼びかけ、誰でも参加できるテーマ別ワークショップ、オフ会等</p>	<p>地元商店等が店舗の扱う商品等に関する知識を教えるゼミナール</p>
<p>主な対象</p>	<p>趣味を共有したい人、仲間を探している人</p>	<p>プロならではのコツを学びたい人</p>
<p>とき</p>	<p>任意</p>	<p>任意</p>
<p>場所</p>	<p>パフォーマンススペース</p>	<p>パフォーマンススペース</p>

その他の特徴的サービスプログラムの例

サービス	とき	主な対象
商店主、ショップの店員、様々な活動を行っている市民等による体験型ワークショップ 例) 食・健康に関する講座等	平日昼間/休日	心や体をリフレッシュしたい人
大学、サイエンスクリエイト等と連携によるサイエンスカフェ、専門書の解説等	平日夜/休日	科学に興味のある理系男子・女子
科学教育センター、自然史博物館、美術博物館、こども未来館等、市の各施設のサテライトイベント 例) 実験ショーの出張イベント、各種企画展の出張展示等	イベント開催前後	立ち寄った人、豊橋を訪れた人

(3) グローアップゾーン

若者が集まる場として、学習、資格取得等の学生生活に役立つ本やティーン向けの雑誌、音楽、ファッションなど若者の興味を引く本を中心に配架します。また、人目に留まる場所に将来への夢が広がる本や社会情勢に関する本などを配架し、読書が若者の成長に繋がられる空間とします。



主な家具のイメージ



空間コンセプト

同世代の友人と語らい、ともに学ぶ場
 学生生活を応援する場
 生き方、将来について考える場

主な配置スペースの例

- ・ティーンズスペース
- ・ガヤガヤスペース

主なサービス、活動イメージ

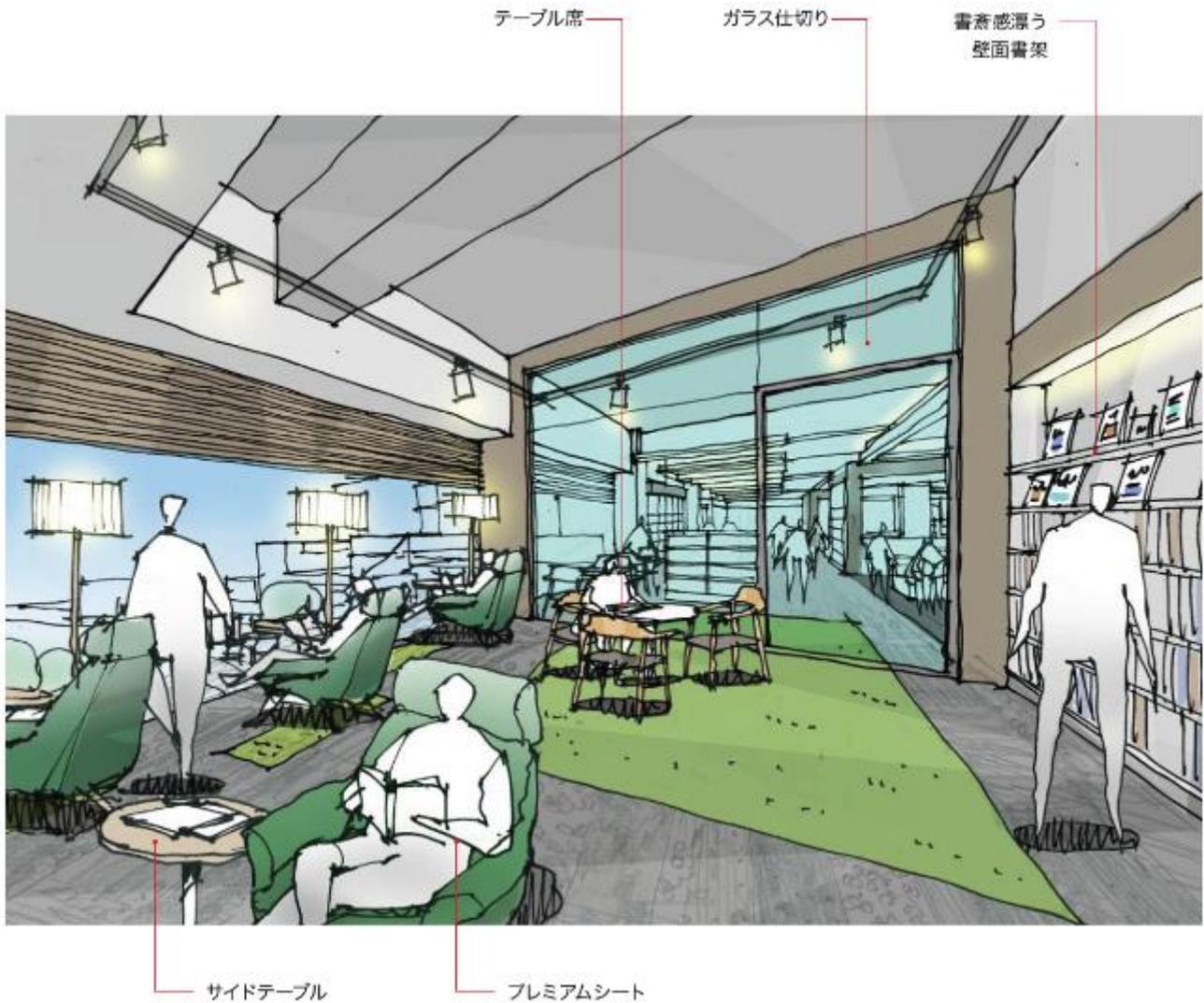
		
サービス・活動事例	放課後クラブ活動	理系、文化系部活動コンテスト
サービス・活動内容	地元の学生が主体となり、まちなか図書館を利用した活動 例) 同世代等に勧める本を並べた書棚、学生が制作・運営するウェブサイト、LINE 等による図書館 PR 等	地元高校生による、理系、文化系部活動コンテスト 例) ロボット、書道、ファッション等
主な対象	豊橋が好きな学生	部活動がんばっている高校生
とき	平日夜/休日	平日夜/休日
場所	ティーンズスペース等	パフォーマンススペース等

その他の特徴的サービスプログラムの例

サービス	とき	主な対象
東三河をはじめとする学校の珍しい、又はハイレベルな活動の紹介（文化祭、部活動等）	平日夜/休日	何かにトライしてみたい学生
地元企業、新入社員、大学 4 年生等が語る学生との就活パーティ（地元企業の想い・誇りや、就業、就職活動の実体験等）	平日夜/休日	就職を控えた学生

(4) リラクゼーションゾーン

座席、静かさ、広さなど自分のスタイルに合わせて選択できる多様な閲覧スペースを設置し、まちなか広場（みどりの空間）など自然を感じられる眺望の中で、好きな本を読みながら、ゆっくりくつろいで時間を過ごせる空間とします。



主な家具のイメージ



空間コンセプト

本と向き合い、自分と向き合う
 本とともにくつろぐ至福の時間
 大人の隠れ家

主な配置スペースの例

- ・多様な閲覧スペース
 (ソファ席、テーブル席、スツール席、プレミアムシート等)

主なサービス、活動イメージ



サービス・
活動事例

レコメンドサービス

サービス・
活動内容

司書やアプリケーションが利用者の気分や感情に合った本を勧めるサービス
 例) 大切な人と一緒に読みたい本、泣きたいときに読む本の検索、紹介等

主な対象

読書で心を豊かにしたい人、
 気分をリフレッシュしたい人

とき

常時

場所

多様な閲覧スペース

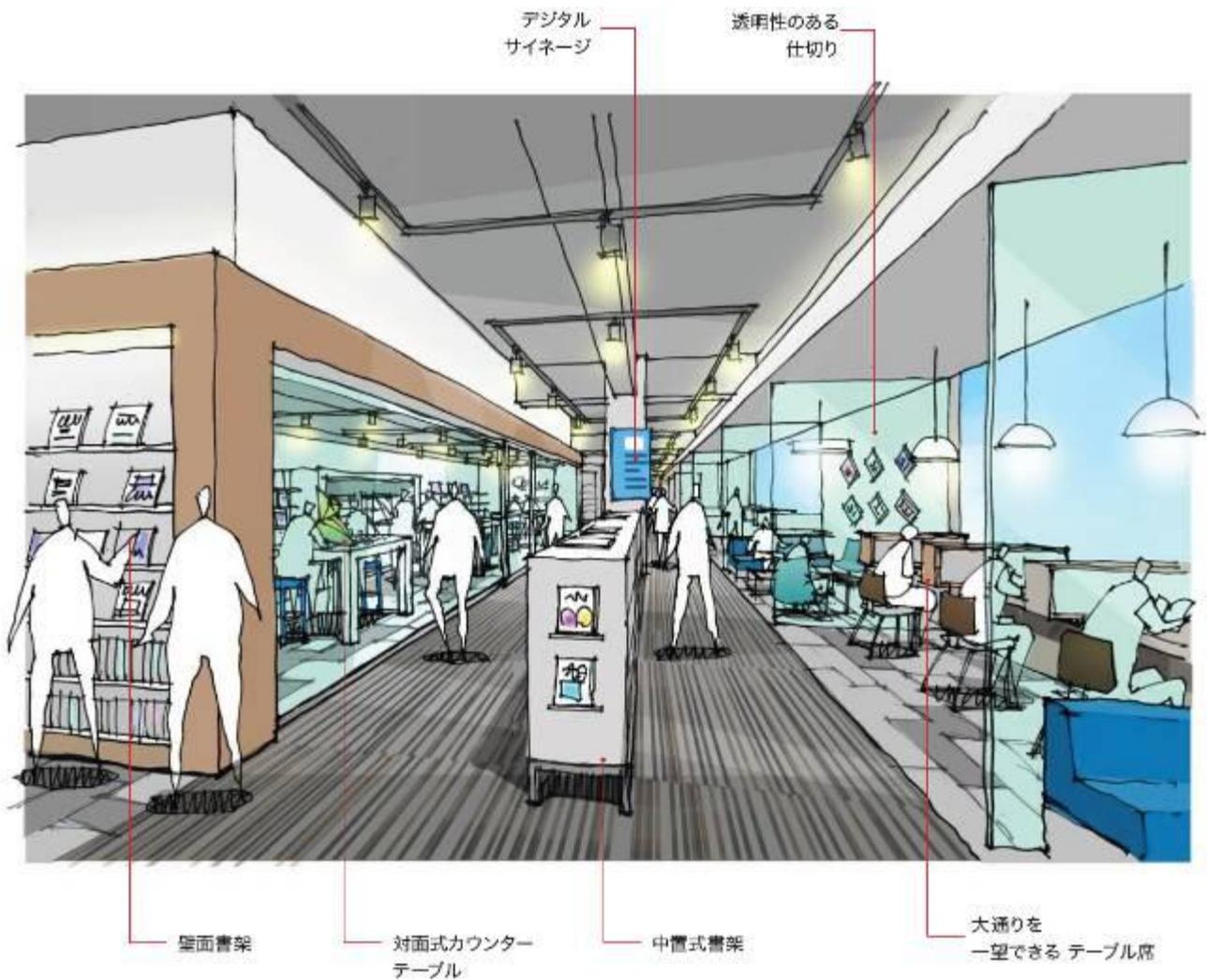
多様な閲覧スペースのイメージ



(5) ラーニング・クリエイティブゾーン

ビジネス・経済関連の本や科学・技術・デジタルに関する専門書などの配架と最新の情報機器の活用により、ビジネスパーソン等がスキルアップを図れ、創造活動や起業に繋がる空間とします。

また、日頃感じる疑問や将来の不安の解消など、暮らしに役立つテーマ（財産、法律、健康等）の本を配架します。



主な家具のイメージ



空間コンセプト

- 集中・創造の場
- 内なる情熱がわき立つ場
- レベルアップ、スキルアップ

主な配置スペースの例

- ・クリエイティブスペース（ものづくり、映像編集等の作業場）
- ・ラウンジ（Collaboration 話をしながら協業する場）
- ・ラーニングスペース（Focus 集中する場）
- ・グループスペース

主なサービス、活動イメージ

		
サービス・活動事例	クリエイティブ系ワークショップ	起業支援セミナー
サービス・活動内容	地元のクリエイター等による情報メディアの表現、発信に関し、実際に機器等の扱い方等を学ぶワークショップ 例) 映像編集、プログラミング等	地域のベンチャー企業等によるビジネスに関するセミナーの開催 例) web ビジネス、ゲーム開発、ビジネスヒントを得る方法等
主な対象	クリエイティブな活動、表現活動に興味のある人、ステップアップしたい人	起業をしたい人、収入を得たい人（大学生、社会人、主婦等）
とき	平日夜/休日	任意
場所	クリエイティブスペース	グループスペース等

その他の特徴的サービスプログラムの例

サービス	とき	主な対象
暮らしの中での疑問や心配ごとに関する地域の若手弁護士や保健師等の専門家によるアドバイス 例) 相続、介護、健康等	任意	疑問や悩みがあるが、誰に聞けば良いか分からない人

4 各ゾーンの基本仕上げイメージ

各ゾーンで使用する素材や色については、外との繋がりやゾーンのコンセプトを意識し、検討を行います。



備考：
※ 写真はイメージであるため、実物の素材感、色味等とは異なる可能性があり、今後実施設計等を行う中で詳細な内容について詰めていきます。

5 施設面積

各ゾーンの概算面積は、以下のとおりです。

ゾーン等	概算面積
ウェルカムゾーン	約 400 m ²
アクティブゾーン	約 800 m ²
グローアップゾーン	約 500 m ²
リラクゼーションゾーン	約 800 m ²
ラーニング・クリエイティブゾーン	約 900 m ²
バックヤード等	約 600 m ²
合計	約 4,000 m ²

※施設面積は、基本計画により 4,000 m²以内とする。

ただし、この面積は、再開発ビルの基本設計作成時のものであり、今後実施設計を行う中でより詳細な規模を検証していきます。

3. 蔵書及び ICT を活用した利用者サービスの考え方

1 蔵書

まちなか図書館の図書資料は開架を基本とし、基本理念及び基本方針に基づくサービスの実現に繋がるものであること、さらに、新たな利用者層の掘り起こしを重視した図書館であることから、学生、ビジネスパーソンなどこれまでの非来館者層に誘因性のある資料群を収集することを意識するとともに、選書や図書資料の活用にあたっては特定の分野について専門性を持ったソムリエ^{※3}との連携を図ります。

図書資料等収集の基本的な考え方

郷土資料等、広範な資料の収集を行う中央図書館と役割を分担し、まちなか図書館の機能に関連した特色を持つ資料や情報の収集を図ります。

<特色ある資料や情報の例>

- ・社会のトピックスを気軽につかめる資料
(特徴ある雑誌、新聞等)
- ・まちづくりに繋がる情報、まちなかの情報
(豊橋又は豊橋文化発祥に関わる企業、商店、著名人等の情報、まちなかのイベント情報、タウン誌等)
- ・メディアミックス^{※4}な資料
(図書、新聞、雑誌、音楽、映像、電子書籍等)
ただし、音楽、映像等はストリーミング(配信)による視聴方法も検討。
- ・暮らしに役立つ資料
- ・学生生活や将来に生かせる資料、楽しみながら生き方などの気付きが得られる資料
(学習参考書、資格取得テキスト、漫画等を検討)

【蔵書数】 10万冊程度 (基本計画 第4章より)

2 ICTを活用した利用者サービス

まちなか図書館では、利用者が欲しい情報を抽出し、活用できるよう時代のニーズに合ったICT化を検討します。その際、市民の主体的な活動の支援に寄与することを重視し、中心市街地や再開発ビル内の施設と連携した情報発信やサービスの提供を図ります。

ICT化における基本的な考え方

情報通信技術の進化に伴うスマートフォン等のモバイル端末の急速な普及とともに、Twitter(ツイッター)やFacebook(フェイスブック)等のソーシャルメディアによる誰もが参加できる新たな情報発信スタイルの広がりが顕著に表れており、今後もICTの技術は進化し続けるものであるため、社会情勢を的確にとらえ、最新の技術や情報発信手段を上手に活用していくことが重要です。

※3 次章「管理運営の考え方」の中で、ソムリエに関する説明を記載。

※4 小説が原作の映画、漫画が原作のドラマ等、複数のメディアを通じて制作された作品

< ICT化の例 >

○効果的な情報発信

デジタルサイネージ、プロジェクションマッピング等のツールを用いることで最新情報への更新が容易となり、効果的な情報発信が可能になります。

また、フェイスブック等のソーシャルメディアやLINE（ライン）等のコミュニケーションツールの活用により、双方向型の情報発信が期待できます。

○ITツールの活用支援

Wi-Fi設備や電源の設置等、インターネット環境を整備することにより、利用者がタブレット端末やモバイル端末により、インターネットや電子書籍の閲覧等を行うことができます。

また、映像視聴、音楽配信、デジタルアーカイブや電子情報の閲覧のほか、画像や映像編集等、ITツールを活用した創作活動の支援も必要です。

○役に立つアプリケーションの導入

昨今のモバイル端末の普及により、商業施設の情報とマップをリンクさせたナビサービスや、利用者に合った情報を提供するレコメンドサービス等、誰でも便利なアプリケーションを使用することができます。

図書館においても、レコメンド機能を付加した図書検索や地域の情報を得られるようなナビゲーション等、民間で行われているアプリケーションについて導入の可能性を検討し、市民が手軽に利用できる役に立つサービスの提供を図る必要があります。

【アプリケーションを活用している事例】

事例（市）	内容
高遠ぶらり（伊那市）	古地図をデジタル化し、GPS による位置情報や史跡などの情報も合わせて表示できるアプリケーション。ウォークラリーなどのプログラムとして、観光客や小学校・ボーイスカウトの地域学習に提供。
Sabota（鯖江市）	図書館の個人用機の空き状況がわかるなどの機能を持つアプリケーション。女子高生の意見をまちづくりに取り入れるプロジェクト「鯖江市役所JK 課」の活動の一環として作成された。

4. 管理運営の考え方

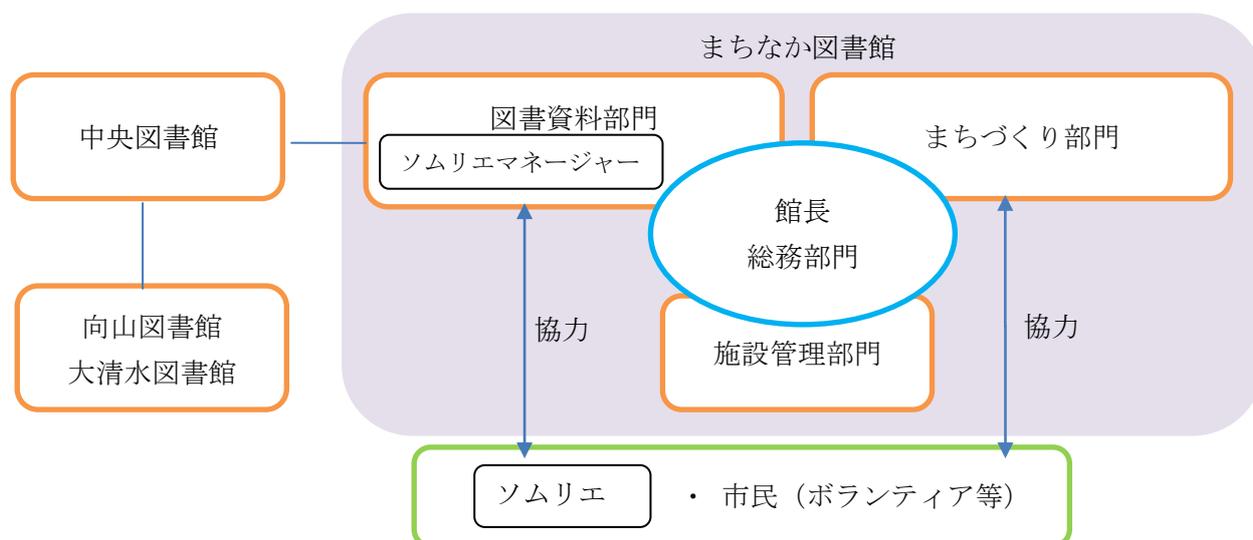
まちなか図書館では、基本計画に基づき市民が何度も行きたくなり末長く愛される施設を目指すため、下記の考え方により管理運営を行います。

1 組織構成

組織構成については、まちづくりに繋げる図書館とすることから、図書資料部門、施設管理部門に加え、まちづくりを担当する部門が必要です。また、様々な機能が集約するメリットを最大限に生かし市民ニーズに応えるためには、一体的なマネジメントが不可欠です。したがって、施設全体を総括する館長のもと、各部門が連携し調整を図ったうえで、効果的・効率的に業務を実施できる体制を検討します。

各事業のプログラム実施にあたっては、それぞれの内容にふさわしいソムリエや市民等と協力することにより、魅力的なサービスの提供を図ります。

【組織構成（案）イメージ】



◇ソムリエについて

まちなか図書館の特色として、館長やスタッフ以外にソムリエを置きます。

ソムリエは、特定の分野について専門的な知識を持ち、まちなか図書館で行われるイベント、セミナーの講師等のほか、まちなか図書館スタッフに対し選書の支援や市民からの相談・疑問への対応についてのアドバイスを行うもので、不定期に来館することとなります。

主体となるのは、市各部局の職員及び関連する団体だけでなく、地域の特色ある企業や大学、まちづくりに繋がる活動を行っている団体や個人等が考えられます。

まちなか図書館スタッフは、ソムリエを統括するソムリエマネージャーとして本（情報）と人を繋げるという役割だけでなく、人（情報）と人とを繋げる役割も担うこととなります。

また、ソムリエとの連携により様々な専門的知識が深められることで、スタッフ自らもソムリエとなり特徴的な選書やレファレンスへの発展が期待できるとともに、身に付いたノウハウを中央図書館等にもフィードバックすることも可能となり、市図書館全体のスキルアップを図ることができます。

2 職員の役割等

(1) 館長

館長は、まちなか図書館のミッション（使命）を継続的に遂行していく上で重要な役割を担います。

地域の象徴となる図書館として管理運営を行うには、豊橋を魅力あるまちにするという意識を高く持ち、まちづくりに深く関わるという姿勢が求められます。

また、いわゆる事業経営者としての能力や公共サービスについての見識と、他の図書館だけでなく外部の団体等との連携に必要なコミュニケーション能力も求められます。

選定方法については公募、指名、内部登用等がありますが、それぞれの特徴を整理し、最も適した方法を検討していきます。選定期間については、開館前のできるだけ早い段階において行い、館長のもとでまちなか図書館のミッションを実現するスタッフ育成等の準備を進める必要があります。

(2) スタッフ

これまで、図書館の主な利用目的は個人で知識を吸収し教養を高めることでしたが、まちなか図書館では、「情報」、「人」を介して、個人や団体の能動的な行動や活動を支援し、より豊かな市民生活と地域のまちづくり活動の活発化に繋げようと考えています。そのため、スタッフは単に「情報」に精通した人ではなく、情報を扱う「人」にも精通し、情報と人、人と人とを繋ぐ役割が求められます。

さらに、まちなか図書館を人々の生活や活動に役立つ身近なものとして理解してもらうため、これまで以上に積極的な広報活動、地域を支援する図書館事業の展開が必要となります。

これらのことから、スタッフには社会の動向やまちに関する高い関心と理解、高いコミュニケーション能力及び新たな取組に対する積極性と創造性が求められます。

3 管理運営形態

公共施設の管理運営手法については、直営と指定管理者制度があります。

業務の性質として、主に、直営には公的関与の必要性が高いもの、業務委託等の活用で対応できるものなどがあり、指定管理者制度には民間ノウハウの活用により利用者サービスが向上するもの、定型的業務で市の政策的事業展開が必要でないものなどがあげられます。また、業務範囲を分け、市と指定管理者で連携して管理運営を行う場合もあります。

「知と交流の創造拠点」を基本理念とするまちなか図書館は、まちづくりに繋がるという観点から新しいスタイルの図書館を目指しており、従来の図書館業務に加え、まちづくりのビジョンを共有し、実践していく役割を担います。地域活性化やまちづくりに必要な人材育成を行うというミッションについては、市の関連部局や地域の人々と連携し、継続的に取り組む必要があります。また、図書資料に関する業務においては、特に選書基準や除籍の判断等、市の意思を直接反映させる必要性が高いものがあります。

上記のことを踏まえ、中枢となる部分については直営を基本に検討を進める一方、行政サービスとして管理運営の効率化を図ることも必要であるため、まちなか図書館で行う業務内容を細かく分類し、手法ごとのリスクやコストの分析及び市場動向等の調査を行ったうえで、施設の性格・設置目的、管理運営の専門性や公平性、運営の効率性等、様々な観点から検討を行い、最適な管理運営形態を選択していくこととなります。

【まちなか図書館の業務内容イメージ】

施設全体を総括する業務

- ・計画や方針の策定
- ・規則や要綱等の整備
- ・イベントや行事の企画、立案
- ・市の部局や外部との調整
- ・予算

など

まちなか図書館の特徴的な業務

- ・まちづくりに繋がるプログラムの企画、立案
- ・ソムリエの発掘、人的なネットワークの構築
- ・まちなかの商業施設等、外部との連携

など

図書資料に関する業務

- ・図書資料管理（選書・除籍等）
- ・レファレンス（相談・支援等）
- ・図書システムの管理
- ・図書資料受入（購入・登録等）
- ・窓口サービス（貸出・返却等）
- ・蔵書管理（配架・蔵書点検等）など

施設管理に関する業務

- ・施設、設備の保守・管理
- ・警備
- ・清掃

など

4 開館時間、休館日

開館時間については、中心市街地に立地することにより通勤・通学者等、夕方以降の利用者が多くなることが想定されるため、再開発ビル及び周辺商業施設等の営業時間を考慮しながら、現在の中央図書館より拡大することを検討します。

また、休館日についても市民ニーズを考慮し、現在の中央図書館より縮減することを検討します。

なお、開館後においても、利用状況や市民ニーズに応じて開館時間等の見直しを柔軟に行うことが必要となります。

【現在の開館时间及び休館日の状況】

	まちなか図書館（案）	中央図書館・向山図書館	大清水図書館
開館時間	平日、休日ともに 9時～22時	平日：9時30分～19時 休日：9時30分～17時	平日、休日ともに 9時～21時
休館日	月1回程度 （他図書館と情報交換等を行うため、館内整理日として必要） その他の休館日は、再開発ビルや周辺商業施設の状況を考慮	毎週月曜日 （祝日のときは翌平日） 館内整理日（原則第4金曜日。祝日のときは前日） 年末年始 特別整理期間	毎週月曜日 館内整理日（原則第4金曜日。祝日のときは前日） 年末年始 特別整理期間

*周辺公共施設の状況

プラット 開館時間 9時～22時 休館日 第3月曜日（祝日のときは翌平日）、年末年始
こども未来館 開館時間 9時30分～21時 休館日 毎週水曜日（祝日のときは翌平日）、年末年始

5 駐車場、駐輪場

まちなか図書館への来館の手段については、交通インフラが整備されていることを考慮し、公共交通機関の利用を促します。

自動車については、まちなか図書館の目標利用者数（年間約50～70万人）よりピーク時の駐車場使用台数を約100台とし、再開発ビルの利用者と合わせても駅前大通公共駐車場（第1）や周辺の民間駐車場の利用状況からその収容が可能と考え、駐車券サービス等により連携を図ることを検討します。

また、駐輪場についてはピーク時の使用台数を約200台とし、再開発ビルの利用者についても一定の台数が必要となるため、短時間駐輪等、その利用形態も考慮しながら、整備方法について検討を行っていきます。

ただし、以上の台数は再開発ビルの基本設計作成時のものであり、今後実施設計を行う中でより適正な規模を検証していきます。

【駐車場及び駐輪場の必要収容台数（試算）】

	必要収容台数	備考
駐車場	約100台	周辺の駐車場を活用
駐輪場	約200台	再開発エリア内に整備を検討

5. 概算事業費

まちなか図書館の整備にかかる費用については、再開発ビルの保留床（土地を含む。）購入費、内装工事費、備品購入費等を合わせて約30億円と試算しています。

なお、整備を進めるにあたっては、社会資本整備総合交付金（都市再構築戦略事業 基準補助率1/2）の活用を想定しています。

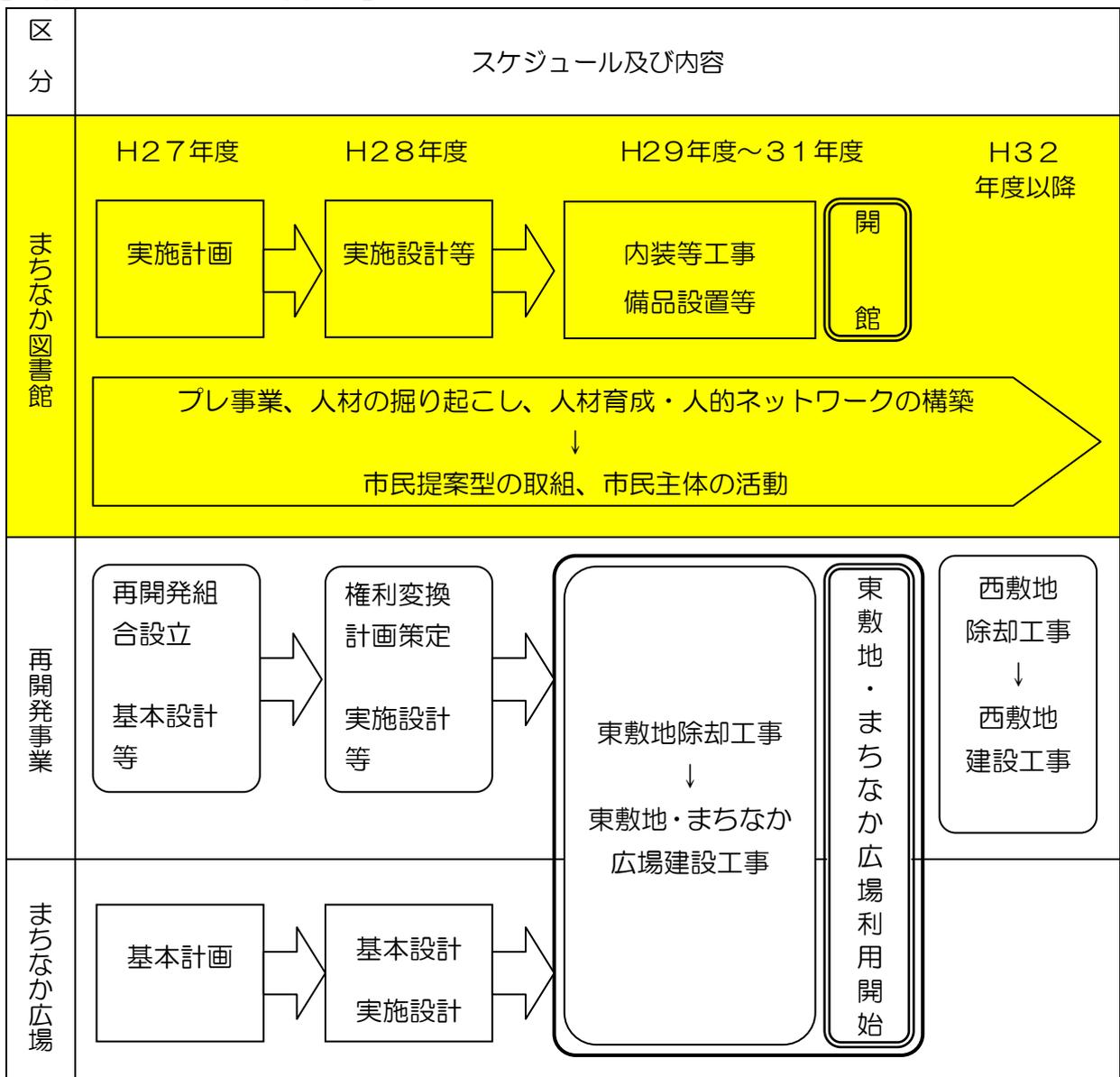
ただし、この金額は再開発ビルの基本設計作成時のものであり、今後実施設計を行う中でより詳細な金額を検証していきます。

6. 整備スケジュール

まちなか図書館の整備については、再開発事業の主体となる再開発組合（予定）と十分調整を図りながら進めていきますが、当該事業の進捗に伴い平成31年度中の開館を目指しています。

今後の進め方として市民に事業の周知を図るだけでなく、プレ事業としてまちなか図書館で展開していく活動イメージの一端を示しながら、開館までの機運を高めていきます。さらに、こうしたイベントの企画立案や運営を市民とともに行うことにより、人材の掘り起こしやネットワークの構築等に繋げ、市民が主体となって活動する図書館の土台づくりを手掛けていきます。

【整備スケジュール（予定）】



出典元一覧

イメージ写真については、下記メーカー等のホームページを参照

各ゾーンの主な家具のイメージ

- 2F ウェルカムゾーン (P6)
カフェサイドテーブル - Warm North Furniture
カフェチェア - Juan Carlos Fernandez, Reyes Castellano & Adam Bresnick
マルチ機能なベンチ - KINZO Berlin
- 2F アクティブゾーン (P8)
楽しいテーブル - Rosan Bosch
楽しいスツール - C Walters Design
楽しいソファベンチ - Sarit Shani hay
- 3F グローアップゾーン (P10)
繫げられるテーブル - Paul Croft Studio
スタッキングチェア - Magis
自由なビーンバッグ - 3xn
- 3F リラクゼーションゾーン (P12)
素材感豊かなテーブル - Tierlantijin
素材感豊かなチェア - Naoto Fukazawa
柔らかいソファ - Yogibo
- 3F ラーニング・クリエイティブゾーン (P14)
ロングテーブル - Elding Oscarson
長話したくなるチェア - Shepley Bulfinch
多方向のソファ - o41

各ゾーンの基本仕上げイメージ (P16)

- 3F グローアップゾーン
直線的なカーペット - Walcott Architecture
積層木材 - Hamilton King
黒色 (黒皮風金物) - Iwamoto Scott Architecture
- 3F ラーニング・クリエイティブゾーン
立体模様のカーペット - Interface
染色した木 - Perkins + Will
黒色 (黒皮風金物) - Iwamoto Scott Architecture
- 2F ウェルカムゾーン
コンクリート感の床 - Gerald Menzel
エージングした木 - A+B Kasha
赤銅色 (金物) - Daikei Mills
- 2F アクティブゾーン
パターンカーペット - Shaw Group
明るく平滑な木 - Exquisite Surface
白色 (金物) - Bleu Nature
- 3F リラクゼーションゾーン
有機的模様カーペット - Interface
素材感溢れる木 - Jay Wash design
白色 (金物) - Bleu Nature